

- 一、四萬七千五百石 乘馬 六疋 同二百二十二人
- 一、四萬八千石 乘馬 六疋 同二百二十四人
- 一、四萬八千五百石 乘馬 六疋 同二百二十六人
- 一、四萬九千石 乘馬 六疋 同二百二十八人
- 一、四萬九千五百石 乘馬 六疋 同二百三十人
- 一、五萬石 乘馬 六疋 同二百三十二人

一、四百五十石より六百石迄 同 八人

一、他國御供并詰人、跡々は八百五十石より千五百石迄一人半扶持、千五百五十石以上は一人扶持被下候得共、向後身躰高下に無構、二人扶持可被下之由被仰出候事。

一、馬飼料一疋に大豆三升宛可被下事。

但乘馬爲牽不申候者飼料被下間敷事間、聞届相渡可申旨申の十月より御定。

一、人馬御扶持方、有人馬過不足之無構、知行當り之圖可被下事。

一、御家中出銀、御馬乘、御鷹師・與力・御算用之者・御歩行、唯今迄出銀惣並に出、請取候時分少分に有之候。向後出、取一統に可有割符。但、百石より内六十石迄者百石之當り、十石に付二十目おとりに可被下事。

一、知行取・切米取、御指圖に付御見送、御迎に參候もの、并足輕以下御使並之路銀・馬銀・宿賃銀可被下事。

一、足輕・御弓之者被下人、頭自分知當り之外、御扶持方可被下事。

一、參宮・湯治并煩御暇被下候者、翌日より御扶持方引可

申。但、江戸引越入者、殘置候人數之分御扶持方可被下事。

一、御用有之、御屋敷にて御賄被下候者、御扶持方引申間敷事。

一、江戸引越之面々、御扶持方・妻子扶持方共に如前々たるべき事。

一、江戸引越人死去人、妻子御國に罷歸候迄御扶持方可被下事。

八 御使者路銀・馬銀・宿賃等御定

他國御使路銀・馬銀之覺

上道。但、人數・乘馬御供同前。

一、主人一日に二匁、下人一匁六分宛。

駄賃銀一里に付六分八厘四毛宛。

朱書。只今は一里に付八分一厘五毛宛。

下道。但、人數・乘馬御供同前。

一、主人一日に一匁五分、下人八分宛。

駄賃銀一里に付六分宛。

朱書。只今は六分六厘宛。

- 一、知行六十石より三百四十石迄 駄賃馬一疋
- 一、三百五十石より九百四十石迄 同 二疋
- 一、九百五十石より二千四百四十石迄 同 三疋
- 一、二千四百五十石より三千四百四十石迄 同 四疋
- 一、三千四百五十石より四千九百四十石迄 同 五疋
- 一、四千九百五十石より六千九百四十石迄 同 六疋
- 一、六千九百五十石より九千九百四十石迄 同 七疋
- 一、九千九百五十石より一萬四千九百四十石迄 同 八疋
- 一、一萬四千九百五十石より二萬四千九百四十石迄 同 九疋
- 一、二萬四千九百五十石より五萬石迄 同 十疋

一、右之通路銀・馬銀被下候者、御扶持方は取上可申事。

一、他國逗留之内御扶持方代、八百石迄一日に二人に四分五厘宛、千五百四十九石迄は一人に三分四厘宛、千五百五十石より上者一人に二分三厘宛、馬飼料・宿賃共に一疋に一匁一分宛。

一、他國御使船路之所、海上日數御扶持方并運賃銀被下、